

ピースクラブ通信

No.54

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
 所在地 〒556-0014 大阪市浪速区大國1 11 1
 連絡先 TEL 06-66647-2007
 FAX 06-66647-2008
 Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp
 H・P http://www.ab.auone-net.jp/~peace_c/

「矢島祥子さん亡き後の現在の心境」

上村将章

11月15日月さつち
 やんの追悼会がピース
 4階で行われる。
 さつちゃん(矢島祥子
 さん2009年11月14
 日他界享年34歳)が
 亡くなって丸6年にな
 る。

未だに犯人が特定さ
 れず、事件の解決に至
 っていない。
 さつちゃんは、学生
 の時にインドやあらゆる
 場所でボランティア
 や勉強をして、内科
 の医師になった。

僕がさつちゃんと知
 り合ったのは、200
 2年に西成釜ヶ崎のふ
 るさとの家が最初だっ
 た。

さつちゃんは、淀川
 キリスト教病院に勤
 めながら、釜ヶ崎には
 ボランティアと日曜ミ
 サに来ていた。
 その存在は、たまに見
 かけるおとなしい女性
 にしか見えなかった。
 しかし、2007年に
 職場を鶴見橋商店街
 のくろかわ診療所に、

住まいもその近くに移
 してから、みるみる認
 知度が上がっていった
 と思う。

以前僕は、土曜の夜回
 りグループの一員だっ
 たが、僕がいた当時は、
 少し薄暗く意味ありげ
 な雰囲気だったグルー
 プも、僕がやめ、さつ
 ちゃんが在籍してしば
 らくすると、倍以上
 の人員と明るく元気な
 雰囲気になり輝きを感じ
 たことを覚えている。
 さつちゃんがいる所
 には、たえず人が集ま
 っていた。この人はき
 っとすごい人になるな
 あと思っていた。

その矢先に事件が起き
 て、この世を去ってし
 まった。

ものすごいショックだ
 った。
 この頃から僕の見世
 界が変わり始めたと思
 う。
 僕はこの事件を追求
 していくにつれ、釜ヶ崎
 の負の部分と日本社会
 の黒い部分とを感じて
 いくことになりました。
 お金の為なら平気で嘘
 を並べる、人を殺める
 こともいとわれない、正義
 だと思つて疑われないも
 のが、実は真逆もあり
 えると言つことに。

最近、マイナンバー制
 度が始まり、「一億総活
 躍社会」などと持ては
 やされている。

これは、国民一人一人
 から、くまなく税金や
 資産を徴収、管理す
 る為だと思つている。

国民の預貯金の総額
 は、約1400兆円と言
 われているが、現時点
 での日本の借金は1
 000兆円を超えた。

なぜ、1000兆円を
 超えても破たんしない
 のか？。それなりの担保
 があるからだと思つ！。

誰が、何故、あんな立派な女性を殺した！

なぜ矢島祥子医師がなくなったのか調査中です
 娘女のごとで知っていることがあれば是非ご連絡下さい。
 さつちゃんの会
 080-1178-6705
 yajima-sachiko@docomo.ne.jp

日に日に増えていく借金の中、国民一人一人にもつとお金を稼ぐことが求められている。円安株高の操作によって、大企業や資本家に大金を稼いでもらい、その他の国民には、安い賃金、無残業手当、年金等の支給減額で我慢を強いる。これが「一億総活躍社会」の実態だと思えます。

自分ごとになります。が、僕は3歳の時に、社会から脱落しました。何を持って脱落か人それぞれなのですが、自分なりに一生懸命仕事をし、でも神経症などの病気を患い、元気になれば、また患いを繰り返しました。

そして、3歳の時に一生懸命働く事を断念しました。自分的には駄目な人間になった思いがありましたが、縁あって釜ヶ崎に来ることにになり、スローな生活があることに気づきました。時間や約束を守らない、ひたすらマイペース。

どれも信じられなかったが、その生活はとも新鮮で意外と自分に合っていた。でも、10年が過ぎ、その世界が消えていくように感じます。

僕が居心地良かった釜ヶ崎も公園や路上での生活者が一掃されています。

福祉の世界でも公共の施設などがどんどん民営化されています。

安楽な場、自由な空間が失われてるように思えます。

「社会とは、いったい誰の為にあるのでしょうか?」「そして、誰の為に働き、生きるのでしょうか?」「皮肉にも、矢島祥子さんの死

やっと元気になりました

中川イエロー

この通信に初めて文章を投稿する中川です。月一回、喫茶キジムナーでライブをさせてもらっていました。交通事故や、内臓の病気で入院したり、皆さんに心配をかけてばかりでした。やっと保険会社との話が終わり、もう事故のことは考えなくてもよくなり、せいせいしました。

をきっかけに、社会に欺瞞を抱くことになりました。「何も考えずただ今日を生きる」も良いですが、たえず社会悪と対峙して、おかしい事には声を上げていきたいと思っています。

定年組は今日行く所がない、することがない、と心配してくれているのでしよう。けど、いろいろ頑張ったなあこの一年思うのです。その内の2つを書きます。

①盆踊り この夏、あちこち踊りに行きました。初めて行く町でも、知らない人はかりでも、踊りの輪に入って皆と一緒に踊る。踊り方は、かなりバラバラで無秩序だけど面白い。



「お前はヘタだ」とか「そんな変な踊りはやめとけ」と、怒られることはない。

「だいいち、入り口で名前を書かされることもありませぬ。」

「考えてみたらなんと自由で平等な場が実現しているのです。」

「年に一晩だけですが、盆踊りなんかたいして重要でないけど、無くなったら淋しい。」

「んな思いは皆同じで、近所の喫茶店で「どこぞで盆踊りないか？」

「あつたら教えてくれ」と、よく言われます。

「そして、ひと昔、ふた昔前の盆踊りのにぎわいなどの話に花が咲きます。」

「2」デモ行進 同じような調子で、安倍首相の戦争法案に反対するデモのことが、茶飲み

話に、またラーメン屋さんでもよく話題になりました。

「私はこの集会やデモがあれば、あれもこれも、どれも行き倒して

いたので、「今日はどこへ行ってきたんや？」と尋ねられることが多かった。

「そのたびに「今日は南御堂から宗教者デモだった」「集会に行

ったら知ってる顔と会って嬉しかった」とか「えらい遅れて扇町公園に到着。先頭がデモ

に出発して一時間経つてるのに、最後尾がまだ公園に何百人もい

た」などの話を、店主も客も（と言っても二

三人）一緒になって聞いてくれます。

「誰に遠慮もいらぬ政治談議が始まります。」



「さて、盆踊りとデモに同じノリで参加している中川の言いたいこと。今みたいに社会が大き

く変わるうとして、戦争反対、差別を許すなと言っている中から

本物のファシズムが登場することが考えられます。」

「そんな流れに巻き込まれるのはまっぴら。自分の一番大事なものをひ

とつ捨てて、身軽に、元気にいきたいです。」

「ピースの仲間、よろしく！」

岸本さんは寡黙だ

与太郎

「与太と岸本さんとの初めての会話は、アポなしの面接の後、ピー

スクラブ三階に上がって「上から言われたので採用です。」だった。

「そんな岸本さん、当時何を考えているのかわからず苦手だったのを覚えてる。」

「そんなある日、岸本さんが書いたピースクラブ通信の記事を読んだと太は、この文章好き、イコール岸本さん

好きだと思えた。この人から色々学びたいと思った。」

「ここから寡黙な岸本さんを打ち破っていく

与太がいました。

「なんだかんだ話題をみつけ、例えば……岸本さんの髭に對し、岸本さん髭剃つたらあかん。岸本さんらしくない。岸本

さんはむさ苦しいその髭があるから岸本さんや。などと……。」

「冗談と本音が入り交じった与太の言葉を、いつもの人懐こい笑顔のあとの一言、

「二言、やっと仲良くなれたような気がしました。」

「与太がやってるバンド、フリーラヂカルのライブにも来てくれました。」

そんな岸本さんが13年の11月に二度目の脳梗塞で倒れた。

与太は岸本さんが倒れる前、嫁さんと年一回の沖縄旅行の土産にノンアルコールの泡盛あつたら買ってくるね。という約束は未だ果たせていません。一度目の脳梗塞の直後、与太は見舞いに行きました。

表情が全くなかったのを覚えています。哀しかった。これが現実だと受け止めた。今、少しずつ表情が戻りつつあるのが嬉しいです。最近針の治療を一緒に受けている。

部屋まで迎えに行くことが与太の習慣行事になった。

あなたの部屋の入り口には中村晋作氏と撮られた写真が飾ってあった。それはあなたが公私関係なく人生として、メンバーさんに寄り添って来た一枚のように与太は思えた。与太にはとても真似はできない。



春さん便り

大西 洋子

皆様に心配かけています。春さんは、ほんの少しずつ良くなっていきます。心は、意志は、前よりピュアに深化しています。肉体が動かないとか、苦しいとか言うのは、人間をすごく成長させるんですね。「悟り」とはこういうことか。春さんを見ていてそう思う。春さんってこんなに偉かったのかなあ。飲んだくれで、エエカッコシで、金食い虫で、そぎ落ちて、そぎ落ちて、本性が現れている。としたら私はすごい人と共に居ることになる。9月、10月、実はしんどかった。疲れていた。嫌になつていた。でも日々いろんな事があつて、毎日の日常はあるので、なんとかとか、乗り越えたと思う。春さんの言う日常生活の大事さを思う。いつの間にか、マイナナーバ一決まっています。(2年前には春さんが倒れていて、その時の記憶は全くない)これからは、全てが監視されることだ。

「悟り」とはこういうことか。春さんを見ていてそう思う。春さんってこんなに偉かったのかなあ。飲んだくれで、エエカッコシで、金食い虫で、そぎ落ちて、そぎ落ちて、本性が現れている。としたら私はすごい人と共に居ることになる。9月、10月、実はしんどかった。疲れていた。嫌になつていた。でも日々いろんな事があつて、毎日の日常はあるので、なんとかとか、乗り越えたと思う。春さんの言う日常生活の大事さを思う。いつの間にか、マイナナーバ一決まっています。(2年前には春さんが倒れていて、その時の記憶は全くない)これからは、全てが監視されることだ。

権力者がと言う事だけど、地震、津波、原発の事故に誰が対処出来るというのか。私は、どの部分を切つても、私だ。何を大事に、生きるかだ。世の中の動きに一喜一憂するより、それで無力感に陥るより、自分自身に向き合つて、本当の「生」を生きる事を春さんが教えてくれた。ゆつくりでもいいんだよ。でも今から出会い直しだし、生き直します。

